

令和 2 年度事業報告

学校法人新宿学園

I 法 人

I 概 要

2020年年明けと同時に話題となったコロナウイルス問題も世界中に異常な広がりを見せ、2020年12月31日には東京都感染者が1337人の大台となり、その後年明け1月7日から3日間連続2000人を超える等、感染の広がりには予想を上回る大幅な感染者が出て、1月8日から2月7日まで1都3県に緊急事態宣言が出された。

その後、収まりを見せず再度の緊急事態宣言も4月になっても解除されることがなく、予定していた入門式も自粛せざるを得ず新入生の初登校は5月7日になるなど今まで経験したことのない異常事態の中で新年度がスタートされた。

1年経過した今でも不安が広がったままの状態が続いており、安心して授業ができるような環境となるよう収束が待たれるところである。

2020年3月24日に佐川旭理事のご紹介で城南信用金庫様と「良い仕事おこしネットワーク」包括的提携に関する協定を締結し、そのご縁により福島県矢祭町より新鮮な食材を贈呈頂き5月28日には矢祭町特産品開発協議会3名が来校され城南信用金庫様4名が参列される中野菜贈呈式を挙行了した。「良い縁がさらに良い縁を尋ねて発展してゆく様は誠に妙なるものがある」という安岡正篤先生の言葉「縁尋機妙」を特に感じる年でもあった。

7月3日・羽田イノベーションシティにて「良い仕事おこし」プラザ開設セレモニーに際し来賓者に対するお弁当を矢祭町の食材を使用し提供するなど提携学校として協力させていただいた。

また、9月には上神田校長が監修して制作した「マンガでわかる料理をしごとにする」とを幻冬舎から5000部発刊し、そのうち学内納品1,500部を広報ツールとして利用した。

校舎改装では昨年に引き続き5階中国料理のデモンストラーションルーム改装が5月に完成、また1階を調理実習室・レストラン開業とするための第一段階として受付・総務・教務室の2階移動も3月末に終了した。

II 人 事 組 織

法 人

令和2年3月31日で評議員・理事・監事の任期満了となり、全員再任となり東京都に届出を済ませたが。7月4日付で田中礼子理事より辞任届が提出され新評議員・理事として飯館村相談役でもあり被災地訪問時より交流を続けている建築家佐川旭氏を推薦

理事会・評議員会の承認を得て8月1日より理事に就任頂いた。

なお、第1回理事会はコロナ禍にあり常任理事会として実施、外部理事には委任状、監査の先生には電話でご連絡し承認を得た（4月15日決算書作成・監査および理事に送付した）

学 校

① 採用

令和2年4月採用	鳥海 阿生乃（木更津ビューホテル）調理実習助手
令和2年4月採用	柏木 葉子 芸能活動継続中 123☆45(イズミヨーコ)
令和2年8月採用	勝田 裕華 （社会福祉法人ちとせ交友会）
令和2年11月採用	甲斐 秀則 （株式会社池の平ホテル&リゾート）
令和3年3月採用	市川 宗民 （レストランLEAU 2,016年本校卒業）

② 退職関係

令和2年5月退職	中林ふち子 勤続26年（平成17年～令和2年まで新宿学園評議員）
令和3年3月退職	中嶋貴明 勤続3年
令和3年3月退職	福永敏之 勤続4年（平成29年～令和2年まで新宿学園評議員）

③ 入学者数の状況

・昼間部調理師 本科	57回生	47名
・昼間部調理師 専修科	18回生	130名
・夜間部	107回生（4月生）	89名
		合計266名

④ 卒業者の状況

・昼間部間部調理師 本科57回生	44名
・調理師 専修科17回生	106名
・夜間部106回生	71名
合計	221名

コロナウイルスの影響により来賓・保護者・在校生を入れず学内で3月13日弁論大会・3月14日は卒業証書授与式として挙行了。

Ⅲ 各事業実施状況

1、役員会等開催状況

(1) 理事会

第1回理事会	4月24日	令和元年度事業報告・収支決算に関する件
第2回理事会	同日	令和元年度補正予算に関する件
第3回理事会	同日	入学選考料変更について
第4回理事会	同日	預り金取り扱い規定の一部変更について
第5回理事会	5月23日	取扱い規則及び規定廃止について(注)
第6回理事会	7月17日	評議員選考について
第7回理事会	同日	中途退学者に関する学費返却について
第8回理事会	7月27日	学識経験者理事選考について
第9回理事会	同日	校医委託・報酬に関する規則について
第10回理事会	10月16日	資金運用について
第11回理事会	同日	理事会会議規則変更について
第12回理事会	同日	学僕要領規定変更について
第13回理事会	10月28日	野村証券から購入の債券について状況説明
第14回理事会	11月7日	野村証券から購入債券について
第15回理事会	3年3月16日	令和3年度事業計画案および収支予算案
第16回理事会	同日	証券会社の社債取り扱いについて

(2) 評議員会

第1回評議員会	5月23日	令和元年度収支決算・事業報告に関する件
第2回評議員会	7月22日	辞任による評議員および評議委員選出理事について
第3回評議員会	3年3月25日	令和3年度事業計画案ならびに収支予算案について

(3) 監査

5月7日令和元年度の会計に関する諸帳簿および関係書類並びに理事の業務執行について監査実施

5月8日東京都法務局新宿出張所に財産変更登記申請 6月8日受理

6月9日東京都へ資産総額変更登記申請 6月19日受理

6月16日東京都役員変更届申請 7月21日受理

8月17日東京都理事変更届申請 8月24日受理

その他

(1) 学僕(特別指導待遇生)

被災地支援活動として震災直後から実施してきた特別指導待遇生を26年度から学僕に改め被災地に限定することなく広く応募を募っている。

令和2年度は下記4名を学僕生として受け入れた。

学僕生は授業料半額とし、その他入寮費・食費・生活費など生活に必要なものを全て学校が負担し、技術指導のみならず普段からの生活指導にあたっても将来のリーダーとなるべく学校全体で教育指導をしている。(なお平成3年度学僕生は授業料を含めすべて無料としさらなる指導強化を進めている)」

令和2年 学僕生(夜間部106回生入学) 岡田明也 関根修真 小笠原康一郎

なお同期で学僕生として入学した吉澤迪哉は体調不良のため学僕として続けることが出来ず令和3年度昼間部本科に再入学して通学中である。

令和元年4月入学(夜間部106回生)令和3年3月に卒業/就職も記載の通り決定した。

鈴木健太 就職先 ハレクラニ沖縄

鈴木悠太 就職先 なだ万(ホテルニューオータニ内)

高松龍之介 就職先 日本料理ときわ

なお、校長が主催している料理セミナーに古くから参加され、本校の教育方針に温かいご理解とご支援を頂いている池田夫妻より学校に対し百万円の寄贈があり、有効的な利用法として池田基金を創設し、その中から卒業にあたり学僕生に包丁の贈呈を行うこととし池田夫妻より贈呈式を実施した。

(2) 指定校推薦入学者について

指定校推薦該当者については自宅から学校まで定期学割代金を全額補助金として支出した。

なお、令和3年度出願者より指定校推薦者の定期代金補助金制度は廃止とした。

本科(一年制) 6名 573,380円

専修科(二年制) 13名 2,184,640円 合計2,758,020円

(3) 主な広報活動

(4) 学校案内 13,000部

① 入学要項 15,000部

② 見学会DM印刷物 4種 13,500部

③ 広報誌 1社 2種類

④ 広報ネット 4社

⑤ 駅看板 西武新宿駅

⑥ 高校進路イベント実績(令和2年4月～令和3年3月)

・学生プレゼン授業 13回 333名

・高校内出張授業 2回 25名

合計 15回 358名

⑦ ポスティング用チラシ 11,000部

その他・校舎使用状況他 別紙表記載のとおり

(4) 東京都私学財団 退職金資金事業加入(7月14日加入)

財団では退職金資金の交付に必要な財源は加入者からの負担金および東京都からの補助金、積立資金の運用によって事業を実施しており、負担金は東京都から届出教職員全員の標準給与月掛けの36/1000補助がされており現在の中退共積立金より有利であるため。

(5) 校医として新宿オークタワークリニック(院長田中鶴人)と提携 毎年7月末日振込み

提携額校医報酬 基本額70,000円+ 昼間部生徒数×300円(夜間部生徒は除外)

(6) マンガでわかる「料理を仕事にすること」1500部納品

(7) 校長出版本「四季の料理」112冊×9,000円 1,008,000円で購入

(卒業時に優等賞受賞者に記念品として贈呈)

(8) 空調工事不備によるホクトエンジニアリング訴訟裁判日

10月8日・11月16日・ 裁判所にて

年明けより弁護士事務所にてリモート裁判1月25日・3月8日

次回3年5月24日予定

(9) 明治記念館改修工事のため研修生として2月8日～6月6日まで2名受け入れ

新宿調理師専門学校

I 教務概要

「私達は、お預かりした大切な生徒に、人として大切な倫理と道徳を躰け、
調理師として必要な知識と技能を授け、社会に望まれる人財を養成する」
という校是（教育目的）に沿った教導育成に尽くしました。

1、調理師本科について

- ・昼間部について
コロナウイルスの感染に怯えながらも、出来る限りの安全対策を講じながら、
調理師免許資格を取得させ、卒業まで導きました。
- ・夜間部について
夜間部に関しての募集は、順調に推移しているが、シニア世代のニーズがあることから、
今後の検討事項と考えます。

2、専修科について

- ・1年生次には、“良き習慣を身に付けさせる”という、躰教育に注力しました。
調理実習では、衛生的な取り扱い、基礎知識と技能の修得に努めました。
 - ・2年生次には、調理（和・洋・中）の各ジャンルの応用編（和：寿司・天ぷら・蕎麦・
うなぎ・など）の実習授業を数多く取り入れ、実施しました。
- その他にも、大地に学ぶ農体験授業・被災地訪問活動・街頭清掃活動、などのさまざまな
成長を促すことに務めました。

3、教本、及び試験について

- ・庖丁は、学校で備え、正しい取り扱いを身に付けるために“研ぐ、磨く”などのていれから、導
きました。
- ・教本は、学校で備え、授業に貸し出すスタイルで実施しました。

4、教職員の育成について

- ・“生徒を見れば、教員の資質が分かり、学校の程度が知れる” 従って、学校の教育力の向上は
我々教職員の資質向上にかかっています。
教師が流汗悟道の姿勢で、率先垂範の情熱で、自らが学び成長し、生徒に、社会人となる“心構
え”を持たせる、職業人となる為の“覚悟”を授ける努力をし続けました。

5、就職指導について

- ・生徒自らが、就職活動に取り組ませるような支援体制をさらに整え、コロナ禍にも関わらず、全
員が飲食業界への就職内定を得ました。

II 各事業報告

1、学級編成

・昼間部	調理師本科	1学級
	専修科1年	3学級
	専修科2年	3学級
・夜間部	106回生	2学級
	107回生	2学級

合計 11学級

2、年間行事

・入門式	中止（緊急事態宣言下のため）
・体育祭	中止
・お田植祭（さぎ山）	令和2年5月29日（金）
・稲刈り祭り（さぎ山）	令和2年5月29日（金）
・新嘗祭（さぎ山）	令和2年11月21日（土）
・被災地訪問（飯館村）	令和2年10月23日（金）
・感謝レストラン	令和3年 1月8日（土）
・シェフグランプリ	令和3年 2月13日（土）
・調理祭	令和3年 2月20日（土）
・立志式（校内開催）	令和3年 3月14日（日）

以上